

令和元(2019)年度 宮崎県相談支援従事者専門コース別研修実施要領
『福祉専門職として、大規模災害にどう向き合うか』

1 目的

東日本大震災から8年が経過しました。あれほどの大規模災害だったにも関わらず、少しずつ少しずつ、記憶から薄れていってしまっているような、そんな感覚にとらわれてしまっています。そして、近い将来起こりうるであろう南海トラフ地震、また、日本各地で起こっている地震や水害、土砂災害など、大きな災害が相次いでいる現状があります。

私たちは自然災害に太刀打ちすることはできませんが、備えることはできます。平時に地域で支え合う仕組み、つまり地域包括ケアシステムを具体化し、実践しておくことが、私たち専門職としての役割ではないでしょうか。

災害に向き合う時、必ず人の手によって、人が救われている現状がありました。本研修は、そのような人の想いとその温もりについて感じつつ、大規模災害を今一度振り返ることで、起こりうる災害に備えて今、何ができるかを共に考え、日頃からの地域づくりの大切さを実感し実践にうつせる研修会にしたいと思います。

- 2 実施主体 宮崎県（事務局：宮崎県精神保健福祉協会 協力機関：宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会）
- 3 日 程 令和元年8月7日（水） 9：30～16：30
- 4 会 場 宮崎市民文化ホール会議室
- 5 対象者 相談支援専門員及びサービス管理責任者、市町村職員及び健康福祉センターの保健師、又は興味関心のある方等
- 6 定 員 80名
- 7 講 師 災害NGO ラブ&アース 代表 橋之口 みゆき 氏
- 8 内 容 別紙あり